

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 殿

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金

「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」

研究代表者 益山 光一（東京薬科大学薬学部 教授）

研究分担者 矢野 育子（神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」事例調査へのご協力をお願い

残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和2～4年度の厚生労働科学研究費補助金「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」では、専門薬剤師の認定要件や名称・定義に関する提案が行われ、専門薬剤師について第三者評価の必要性が示されました。この成果を受け、「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」では、国民的な視点、医学歯学等の国内外の専門認定のあり方との整合性を踏まえ、我が国における専門薬剤師の第三者評価に関する具体的な運営方法を立案するとともに、専門薬剤師や認定薬剤師による医療の質向上への貢献事例について調査することを目的に活動しています。

今回、病院や保険薬局に勤務する専門薬剤師や認定薬剤師の方が、その専門性を活かし患者や地域医療に対して貢献された事例を広く収集させていただくことといたしました。本案内は、薬剤師を対象とした専門性に関する認定制度を有する主な団体および関連団体にお送りしております。つきましては、貴団体のホームページや機関誌、メール配信等を通して、会員の皆様にご周知いただき、2020年1月から2024年12月の間に学術発表や論文掲載等（予定も含まます）された貢献事例をお持ちの場合は、専門薬剤師あるいは認定薬剤師の方ご自身で、下記のURLあるいはQRコードからGoogleフォームでご回答頂くようご案内のほどお願い申し上げます。誠に勝手ながら、回答期限は令和6年（2024年）10月31日（木）とさせていただきます。

なお、別添のように事例調査票および貢献事例の記載例、貴団体から会員の皆様にご案内される際の依頼文を準備しております。必要に応じて宛先等を変更のうえ、ご使用いただきますと幸いです。本アンケート結果は、個人がどのように回答されたかについては公表いたしません。厚生労働科学研究費補助金の報告書として公表し、薬事行政等の資料として使用される場合もあることをご案内させていただきますと幸いです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本研究の趣旨をご理解いただき、事例調査へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

回答用 URL：

<https://forms.gle/HLmSahQpoCwDDn4TA>



添付：

- ・事例調査票
- ・貢献事例の記載例
- ・会員様向けの依頼文

問い合わせ先： 神戸大学医学部附属病院薬剤部内 厚労科研事務局

hisyo@med.kobe-u.ac.jp

令和 6 年 8 月 吉日

専門薬剤師、認定薬剤師 各位

令和 6 年度 厚生労働科学研究費補助金
「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」
研究代表者 益山 光一（東京薬科大学薬学部）
研究分担者 矢野 育子（神戸大学医学部附属病院）

「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」事例調査へのご協力をお願い

残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和 6 年度より実施しております厚生労働科学研究費補助金「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」では、令和 2～4 年度の厚生労働科学研究費補助金「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」の成果を受け、国民的な視点、医学歯学等の国内外の専門認定のあり方との整合性を踏まえ、我が国における専門薬剤師に関する第三者評価の具体的な運営方法を立案するとともに、専門薬剤師や認定薬剤師による医療の質向上への貢献事例について調査することを目的に活動しています。

今回、病院や保険薬局等に勤務する専門薬剤師や認定薬剤師の方が、その専門性を活かし患者や地域医療に対して貢献された事例を広く収集させていただくことといたしました。つきましては、2020 年 1 月から 2024 年 12 月の間に学術発表や論文掲載等(予定も含まれます)された貢献事例をお持ちの場合は、専門薬剤師あるいは認定薬剤師の方ご自身で、下記 URL あるいは QR コードより Google フォームにアクセスし、オンラインでご回答いただきますようお願い申し上げます。本アンケート結果は、個人がどのように回答されたかについては公表いたしません。厚生労働科学研究費補助金の報告書として公表し、薬事行政等の資料として使用される場合もあることをご理解いただきますと幸いです。

誠に勝手ながら、回答期限は令和 6 年（2024 年）10 月 31 日（木）とさせていただきます。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本研究の趣旨をご理解いただき、ぜひとも事例調査へのご協力をお願い申し上げます。

回答用 URL :

<https://forms.gle/HLmSahQpcCwDDn4TA>



添付 :

- ・事例調査票
- ・貢献事例の記載例

問い合わせ先：神戸大学医学部附属病院薬剤部内 厚労科研事務局
hisyo@med.kobe-u.ac.jp

別添 3

(別添 1)

令和 6 年度 厚生労働科学研究費補助金

「専門薬剤師が医療の質に与える効果とその評価に関する研究」事例調査票

本調査は、2020 年 1 月から 2024 年 12 月の間に学術発表や論文掲載等（予定も含まれます）された貢献事例をお持ちの場合に、専門薬剤師あるいは認定薬剤師の方ご自身がご回答ください。

Q1 ご自身についてお答えください。

- 施設名 []
- 施設所在地 [都・道・府・県]
- 薬剤師経験年数 [0-5 年、 5-10 年、 10-20 年、 20 年以上]
- ご所属施設についてご回答ください。
[病院・診療所、 保険薬局、 その他 ()]
- 病院・診療所にご所属の場合、病床数についてご回答ください。
[19 床以下 20-199 床 200-399 床 400 床以上 病院に勤務していないので、該当しない]
- 保険薬局にご所属の場合、貴薬局の表示及び認定薬局の取得状況についてお答えください（複数回答可）。
[1 専門医療機関連携薬局 2 健康サポート薬局 3 地域連携薬局 4 1 から 3 のいずれにも該当しない
5 薬局に勤務していないので、該当しない]

Q2 ご自身が取得している専門（認定）薬剤師を選択ください（複数お持ちの場合、全て選んでください）。

- 日本病院薬剤師会
がん薬物療法専門（認定）薬剤師 ・ 感染制御専門（認定）薬剤師 ・ 妊婦・授乳婦専門（薬物療法認定）薬剤師
師 ・ HIV 感染症専門（薬物療法認定）薬剤師 ・ 精神科専門（薬物療法認定）薬剤師
- 日本医療薬学会
がん専門薬剤師 ・ 薬物療法専門薬剤師 ・ 医療薬学専門薬剤師 ・ 地域薬学ケア専門薬剤師 ・
地域薬学ケア専門薬剤師（がん）
- 日本臨床腫瘍薬学会
外来がん治療専門（認定）薬剤師
- 日本緩和医療薬学会
緩和医療専門（薬物療法認定）薬剤師
- 日本小児臨床薬理学会・日本薬剤師研修センター
小児薬物療法認定薬剤師
- 日本腎臓病薬物療法学会
腎臓病薬物療法専門（認定）薬剤師
- 日本臨床救急医学会
救急専門（認定）薬剤師
- 日本医薬品情報学会
医薬品情報専門（認定）薬剤師
- その他（具体的に記載ください：)

Q3 特定領域の専門性を有する薬剤師として患者や地域に対する貢献事例として、下記の項目を記載ください（最低 1

つ以上、複数回答可)

※治療継続への貢献、患者満足度の増加、再入院率への影響、経済効果など。様々な観点からご記載ください。

貢献事例①

●関連する専門領域を1つ選択してください

[がん、感染 (HIV も含む)、精神、妊婦・授乳婦、小児、緩和、腎臓、救急、医薬品情報、薬物療法一般、地域医療 (在宅含む)、その他 (具体的に記載ください: _____)]

●貢献事例の公表媒体についてお答えください。

[学会発表 ・ 学術論文 (印刷中含む) ・ 特許 ・ その他 (具体的に記載ください: _____)]

●公表年および月を選択してください。(2020 年 1 月から 2024 年 12 月の間で選択)

●タイトル名 (学会発表や論文の場合は演題名や論文タイトル、特許などの場合はその出願名など) を記入ください。

●掲載雑誌名または学術大会名、特許番号等を記入ください。

●プロブレム

●関与したタイミングを1つ選択ください。

[外来診察前 ・ 外来診察後 ・ 入院中 ・ 在宅 ・ 処方箋調剤時 (在宅以外) ・ その他 (_____)]

●具体的な薬剤師の介入内容 (簡単に結構です)

●臨床アウトカム (簡単に結構です)

貢献事例②

貢献事例③

Q4 「専門薬剤師」のあり方として、問題点・要望などご意見があれば記載ください (自由記載)。

調査へのご協力誠にありがとうございました。

本アンケート結果は、個人がどのように回答されたかについては公表いたしません。研究報告書や薬事行政で使用される場合もあることをご理解いただきますと幸いです。

(別添 2)

貢献事例の記載例について

例 1：学術論文の場合（論文タイトル、雑誌名、発行月の入力が必要です）

「オピオイド鎮痛薬を入院中に開始した外来頭頸部がん患者を対象とした病院薬剤師による電話サポート介入の効果」、
日本緩和医療薬学雑誌、2024 年 9 月発行予定

- プロブレム

「外来頭頸部がん患者に対する疼痛管理」

- 関与したタイミング

「在宅」

- 具体的な薬剤師の介入内容（簡単に結構です）

「外来頭頸部患者に対して、電話によりオピオイドの使用状況や NRS、副作用等有無を聴取し、適宜相談応需した。」

- 臨床アウトカム（簡単に結構です）

「外来頭頸部がん患者への薬剤師による電話介入が、オピオイドによる疼痛緩和や副作用回避に繋がった。」

例 2：学会発表の場合（発表タイトル、学会名、発表月の入力が必要です）

「抗菌薬の供給不安定な状況下における抗緑膿菌薬の使用量変動とアウトカム評価」、第 98 回日本感染症学会学術講演
会・第 72 回日本化学療法学会総会 合同学会、2024 年 6 月発表

- プロブレム

「カルバペネム系抗菌薬供給不安定時における抗菌薬使用量の変動等について」

- 関与したタイミング

「入院中」

- 具体的な薬剤師の介入内容（簡単に結構です）

「カルバペネム系抗菌薬供給不安定時に AST 会議の実施回数を増加させただけでなく、初期抗菌薬の選択や De-escalation の実施をはじめとした薬剤師による積極的な介入を継続して行なった。」

- 臨床アウトカム（簡単に結構です）

「抗緑膿菌薬全体の使用量増大を防いだ。」

* 事前に調査内容についてご確認・ご準備をいただきますと幸いです。